

越谷市立大袋東小学校

小学校外国語

単元名「Unit3 おすすめ(場所・こと・もの)とその理由を伝える」
Crown Jr⑤ Lesson6 "It is in the box. 探し物は、どこ?"



JETはALTとともに児童が活用する表現を繰り返し聞かせている。



授業の様子から(授業の観てほしいポイントを踏まえ)

身近なものを使って前置詞の位置感覚を体を使って繰り返しつかむ。

「私の授業の観てほしいポイント」

- ① 授業中の雰囲気について
「自信を高く」「やる気を高く」「不安を低く」
- ② 段階的なアクティビティの活用について
- ③ ペアワーク中の児童相互の英語でのコミュニケーションについて

ラバーバンドを使って強勢を意識



- 教室全体で児童がリラックスして英語に親しめるよう、グループやペアごとのテーブルを設けている。また、必要に応じて英語をすぐに使えるよう、机上には単元全体で使う表現のシートが置かれている。JETとALTが良い連携を組み、多くの英語を自然と児童に聞かせている。
- 椅子や机、ペンケース等身の回りにあるものや手や肩など、児童の体を使って、繰り返しon, in, under, byの前置詞の位置感覚をつかませながら、児童の思考を促している。
- JETとALTが楽しくやりとりして、英語をたくさん聞かせ児童の行う会話のモデルを自然と示している。時には先生が意図的に間違い、児童に気づきを与え、思考を集中させている。
- ラバーバンドを使って、強調する単語を意識させるとともに自然な発音を促している。
- 聞き返し、繰り返し、確認などコミュニケーションストラテジーのモデルを示し、実際に活用している児童をJETとALTがを見つけ称賛している。

指導者から

児童が英語を話そうと思う目的・場面・状況をJETがALTとともに示し、目指すゴールに向けて教室全体が一体となること、また先生自身が児童とのコミュニケーションを楽しみながら行っていることが、児童にとって、コミュニケーションを楽しむ最良のモデルとなります。今回の授業では、それが実感できました。

児童の外国語への不安を低くする環境づくり

